

1. 調査報告概要表

作成日平成 20年 3月 11日

【評価実施概要】

事業所番号	1271500694
法人名	大栄工業株式会社
事業所名	グループホームコスモス茂原
所在地	千葉県茂原市東茂原12-16 (電話) 0475-23-8881
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
訪問調査日	2008/3/3

【情報提供票より】(平成20年 2月 13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 7月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤	1人, 非常勤 10人, 常勤換算 6.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨木造り	
	2 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	有(円) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> (150,000円)	有りの場合 償却の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
食材料費	朝食	250 円	昼食	450 円
	夕食	550 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月 13日現在)

利用者人数	8 名	男性	3 名	女性	5 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名		
要介護3	2 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81 歳	最低 70 歳	最高 92 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	聖光会病院 秋場歯科
---------	------------

株式会社日本ビジネスシステム

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

コスモスをモチーフにした綺麗な建物で、全面バリアフリーとなっている。介護に意欲のある職員が多く、設立依頼退職者は出ていない。また、団結力があり、職員同士の連携がしっかり図られている。入居者に対しては、相手の人間性に重点を置き、暖かなケアを目指している。食事の楽しみを最重要と考えており、食材は全て国産品を使用しており、米や野菜に関しては地元の農家から購入し、こだわりのある食事を提供している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価では特に改善点の指摘はなかったが、自ら気付いた点に関しては検討の上、改善に努めている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価の作成は一部職員が行っており、職員への周知は十分に行われていない。しかし、評価において気付いた点に関しては、ミーティングにて検討の上改善を図り、サービスの向上を目指す体制を作っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 昨年第1回目の運営推進会議が開催されたばかりであるが、今後は6ヶ月に1回以上のペースで開催を予定している。会議では主に、入居者の状況報告、行事・事業計画を議題とし話し合いがなされており、地域への施設理解の促進を図っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 随時、家族に生活状況、受診内容等を報告しており、その際、家族からの意見・要望を確認すると共に、意見箱、苦情・相談窓口を設置している。現在の所、意見等はないが、いつでも意見等に対応できる体制は出来ており、意見等があった場合は、迅速な対応をする姿勢を意識している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 施設で自治会に加入しており、職員全員が地域住民の為、地域の自治会役員等とは顔馴染みである。お祭り等の地域行事に参加し、施設内行事ではボランティアの来訪を受ける等地域交流を図っている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの開設当時より、「個性を尊重し、穏やかで家庭的な環境でのケア」を主眼とした理念を掲げ、方針も明文化されている。		実践は出来ているが、独自の理念に地域密着サービスとしての役割を付加することで、地域との関連性、地域生活におけるケアをより意識したサービスを目指して頂く事を望みます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の取り組みの中で理念を意識し、入職時の研修、ミーティングや申し送りの際、職員全員での再確認を行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設で自治会に加入しており、職員全員が地域住民の為、地域の自治会役員等とは顔馴染みの関係である。お祭り等の地域行事に参加し、施設内行事ではボランティアの来訪を受ける等地域交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は一部の職員で話し合いの上作成した。前回の評価の結果で特に改善点はなかったものの、評価の中で自ら気付いた項目に関しては検討の上改善に努めている。		職員全員で自己評価を作成することにより、より多くの気付きをサービスの向上に反映させていただくことを望みます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所職員、地域住民、施設関係者を構成員とし、昨年に第1回目の運営推進会議が開催されただけだが、今後は6ヶ月に1回以上のペースで開催を予定している。議事録は残してはいるが、主に、入居者の状況報告、行事・事業計画を議題として話し合いを行い、地域への施設理解の促進を図っている。		

【千葉県】グループホームコスモス茂原

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	茂原市の職員とは顔馴染みで、相互に行き来する関係にあり、入居者の相談等で連携を図っている。また、市が主催する研修に参加し、サービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月に1回は必ず家族が面会に来ており、その際に生活状況の報告を行っている。また、生活状況に変化があった時や病院の受診を行った際には随時電話で報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱、苦情・相談窓口を設置しており意見には対応できる体制は取っているが、意見・要望等は、今の所あがっていない。今後、意見・要望等があった際には、迅速に対応できるよう意識している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	設立から職員の退職はなく、人材は安定している。入職があった場合、1週間程管理者が指導対応し、入居者と馴染みの関係を築きながら仕事を覚えていけるように工夫をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には積極的に参加を促し、研修日に出勤の職員以外は全員参加するような体制になっている。研修後はレポートを提出すると共に、会議にて報告会を行い職員全員への周知を図っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡会に定期的に参加しており、情報交換や勉強会を行っている。また、相互の見学会も行っており、優れた部分を取り入れながらサービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前の見学・面談を通して、家族や本人の意向等を把握している。入居後はコミュニケーションを大切に、話を聞いたり、声かけをすることでなるべく短期間で馴染みの関係を作る体制を作っている。また、家族に協力をお願いし、面会の機会を多く設け、入居者の不安を軽減し、安心した生活を送れるよう支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員全員が家族の一員という意識を持ってサービスを提供しており、日常生活活動に出来る範囲で参加して頂いている。また、共同生活を送る中で職員は入居者から多くの事を学び、日々の生活の中で癒しを得る等、共に支えあう関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントシートに入居者の趣味、嗜好、生活暦等を家族に記入してもらっており、入居者の状況を把握した上で、その人らしい生活ができるように支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>管理者と計画作成担当者がケアプランの作成を行っている。家族に対しては来訪の際に、介護状況、プラン内容を説明し同意を得ている。</p>		<p>なるべく多くの職員がケアプランの作成に携わり、より現状に即したプランの作成を望みます。また、適切なケアを実践する為にケアプランの内容を職員へ周知徹底する事を望みます。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>管理者、計画作成担当者が中心となり、6ヶ月に1回見直しを行っている。また、入居者の生活状況に変化があった場合、その都度話し合いを行い見直しを行っている。</p>		<p>適切なケアを実践する為に見直されたケアプランの内容を職員へ周知徹底する事を望みます。</p>

【千葉県】グループホームコスモス茂原

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の入院時にはお見舞いに行き、医師との情報交換を行っている。また、提携病院以外への通院の支援も職員が行っている。要望に応じた外出も支援しており、2ヶ月に1回移動美容院の訪問がある等、入居者のニーズに応えるサービスを提供している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院以外でも希望のかかりつけ医の受診に対応しており、通院は施設で支援している。月1回の往診により医師との連携が図られており、入居者の適切な健康管理がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	施設での看取りは行っておらず、終末期に関しての対応は提携病院に協力を仰いでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	事務所にて個人情報の書類を管理しており、保護を図っている。入居者の尊厳に対しては職員一人ひとりが意識をし、尊敬の念を忘れず声掛けや対応に注意をしながらサービスを提供している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業計画に日課を定めているが、あくまでも入居者の希望に合わせて臨機応変に対応している。希望が言い出せない入居者に対しては声掛けを通じて少しずつ意見を聞きだしたり、提案をしてみたりして対応している。		

【千葉県】グループホームコスモス茂原

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	片付け、準備等は共同で行っており、献立は管理者がカロリー計算をしながら要望、嗜好を取り入れ作成している。食材には施設でこだわりがあり、全て国産の食材を使用している。また、定期的に少人数での外食会があり、食の楽しみを非常に重要視しサービスを提供している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週4日入浴を実施しており、希望に応じ時間、回数等対応するよう心掛けている。入浴拒否に関しては、声掛け等を工夫し、強制することなく入浴してもらえよう配慮している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	希望や能力に応じて生活活動を共同に行っている。レクリエーション担当の職員を配置し、管理者と検討しながら日々のレクリエーションに工夫を凝らしている。月1回行事を企画し、誕生会にはボランティアの来訪等により、入居者を楽しませる工夫をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	様々な散歩コースを設定し、入居者の気分、好みに合わせた支援を行っている。また、定期的に外出会、外食会を実施しており、職員と入居者が共に楽しみを共有している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の施錠は行わず、出入りは自由になっている。居室に鍵は設置されていない。外に出た場合でも、無理に引き止めず、見守りや言葉掛けにより、柔軟に支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画を作成し、定期的に避難経路の確認を行っている。近隣は顔なじみが多く、緊急時の協力体制が構築されている。		地域の消防署に協力を依頼し、近隣住民を交えた避難訓練、消防訓練を行うことで、万全な災害対策を講じて頂く事を望みます。

【千葉県】グループホームコスモス茂原

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の能力や嗜好に応じた食事提供がなされており、食事及び水分の摂取量がしっかりと記録・管理されている。摂取量の不足に関しては栄養補助食品等を提供し、必要な栄養を確保している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全面バリアフリーの施設で、ホーム全体が薄いピンクの花をイメージした壁紙で穏やかな雰囲気である。廊下が広く車椅子でも安心して通れるようになっていると共に手すりの設置も適切に行われているリビングには、ソファ等が配置され一人ひとりが自由に過ごせる空間となっている。施設内には誕生日会の写真や入居者の作品が展示されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の希望により自由に馴染みの物を持ち込む事や畳を敷くことが可能であり、居心地良く生活できるよう配慮している。全居室にエアコンが設置されており、職員が操作を行い、室温を適性に保っている。ドアにカーテンを掛ける事により、ドアの開放時のプライバシー保護を図っている。表札には花と入居者の名前があり、迷わないような工夫をしている。		